

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文の掲載は控えております。

問一 Ⅱ線部(ア)～(エ)のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで書きなさい。

問二 Ⅰ線部①「もう少し近づけば万全だった」とあるが、ここでの「万全」とはどういうことか説明しなさい。

問三 Ⅰ線部②「ゆっくりと、慎重に前進した」とあるが、この時の心平の心情や様子を説明した次の文を、空らんに言葉を当てはめて完成させなさい。ただし、(1)は文中の言葉を用いて二十字以内で、(2)は適当な言葉を二字で答えなさい。

(1) ため緊張している。同じような感じは前にもあったが、今は雨鱒に近づき、捕まえることに(2)している。

問四 Ⅰ線部③「緊まして持つ手にギュツと力を入れた」とあるが、これと同じように心平が緊張している様子を具体的に描いた部分のうち、三十字以上三十五字以内の一文を探し、その最初と最後の五字を抜き出しなさい。(ただし、字数には句読点も含む。)

問五 空らん A D にあてはまる言葉を次から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア ブルブルと イ ポツリポツリと ウ そつと エ ピタリと

問六 ―線部④「心平は立ちあがると、笑ってため息をついた」とあるが、この時の心平の心情を五十字以内で説明しなさい。

問七 次の発言はこの場面を読んで、感じたことを述べたものである。四人の発言のうち、文章の内容に合っているものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア Aさん―「心平の雨鱒を捕まえようと必死になっている気持ちがよくわかります。なぜなら手に持っていたヤスをふり回しているからです。」

イ Bさん―「この場面には方言がたくさん使われていて少しわかりにくいところがあると思いますが、どこかおだやかな様子も伝わってきます。」

ウ Cさん―「美しい川が想像できました。舞い上がった砂や雨鱒の斑点が見えるほど川の水がきれいなのだということがわかります。」

エ Dさん―「魚と人間のはげしい戦いがくわしく書かれています。その戦いを通して自然を守ることの大切さを伝えていると思います。」

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文の掲載は控えております。

問一 Ⅱ線部（ア）、（イ）を漢字に直しなさい。また、Ⅲ線部（ウ）、（エ）の読みをひらがなで書きなさい。

問二 Ⅰ線部①の表現技法名を次にあげるものの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 擬人法    イ 体言止め    ウ 直喩    エ 倒置法

問三 Ⅰ線部②「裏切られた」を、意味を変えずに別の言葉で表現しなさい。

問四 A、B、C に当てはまる言葉を次にあげるものの中から選び、それぞれ

記号で答えなさい。

ア しかし    イ たとえば    ウ あるいは    エ つまり

問五 I、II に当てはまる言葉を次にあげるものの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア スクスク    イ ポツカリ    ウ ジリジリ    エ テクテク

問六 ー線部③「そういう事情」を指し示す五十字以内の一文を文中から抜き出し、その最初と最後の五文字を答えなさい。(ただし、時数には句読点を含む。)

問七 本文中のペンギンの行動から分かる、ペンギンの「生きていく力」とはどういうものか。二点簡潔に説明しなさい。

三 次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文の掲載は控えております。

問一 ー線部①「原っぱには、何もなかった」とあるが、何もないことを強調するために例としてあげているものを、第一連の中から、すべて抜き出して答えなさい。

問二 A に入る適当な言葉を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 海    イ 庭園    ウ お花畑    エ 水溜まり

問三 B に入る適当な言葉を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア セミ    イ トンボ    ウ タンポポ    エ イチョウ

問四 C に入る言葉を、第二連の中から抜き出して答えなさい。

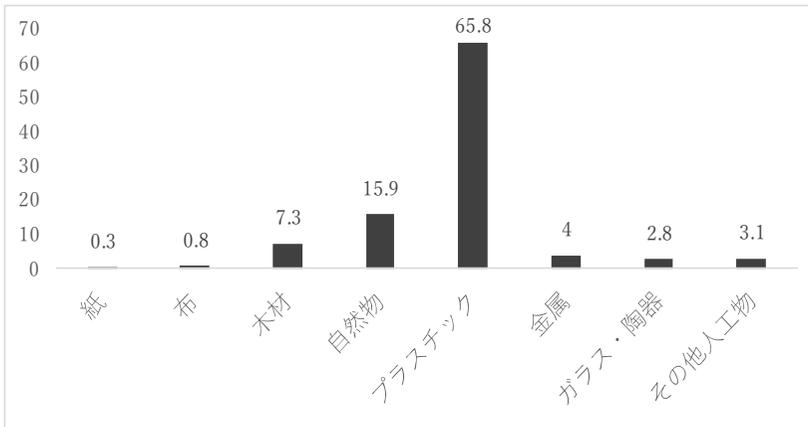
問五 第二連から、「きみ」にとって「原っぱ」はどんな場所であると言えますか。二十字以内で答えなさい。

問六 「原っぱ」にあったものとは何ですか。本文中から抜き出して答えなさい。

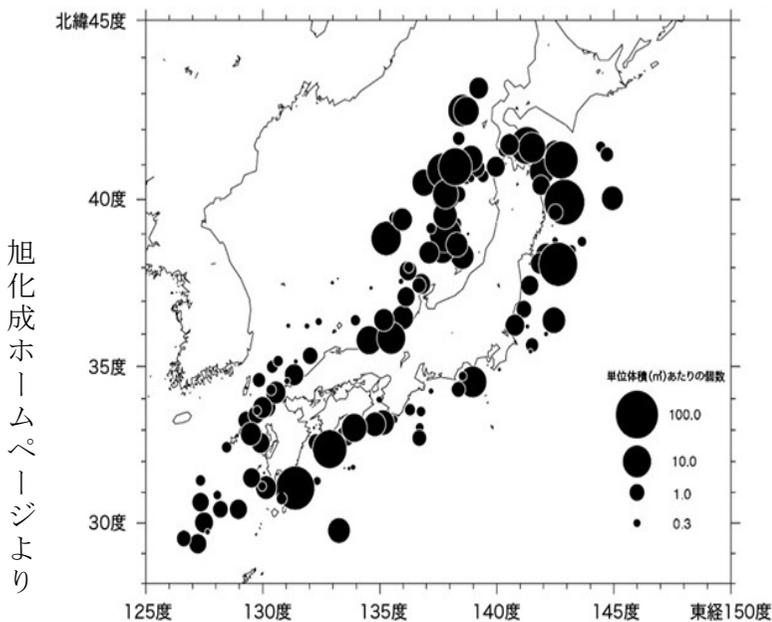
四

次の複数の資料を見て、あとの問いに答えなさい。

〈図一〉海洋ゴミの種類別割合



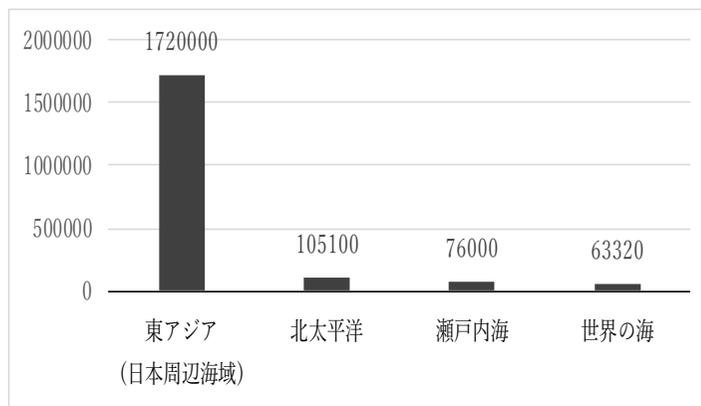
〈図二〉日本周辺の海域の表層を浮遊するマイクロプラスチックの濃度



（個数／立方メートル）

〈図三〉海洋一キロメートルあたりに存在するマイクロプラスチックの個数

「データの時間」



存在するマイクロプラスチックの個数

日本財団 海と日本プロジェクトより

旭化成ホームページより

九州大学の研究データより

問一 〈図一〉 〈図二〉 〈図三〉の三つから共通してわかることを簡潔に答えなさい。

問二 マイクロプラスチックとは、環境中に出された使用済プラスチックが最終的に海に流れ着き、紫外線や波の影響で劣化していったものうち、五ミリメートル以下のサイズになったものです。〈図二〉から読み取れることとして、最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア マイクロプラスチックの浮遊の濃度には、東日本大震災が深く影響している。
- イ 九州の沿岸でも、マイクロプラスチックが浮遊していると言うことができる。
- ウ 日本海側のほうが、太平洋側の四倍、マイクロプラスチックが浮遊している。
- エ 太平洋沿岸では、愛知県沿岸のマイクロプラスチックの濃度が高いと言える。

問三 〈図一〉 〈図二〉 〈図三〉のデータをもとにして、海洋保全をテーマにあなたの意見を、理由を含めて、次の条件にしたがって書きなさい。

(条件) ① 題名や氏名は書かない。

- ② 一〇〇字以上一二〇字以内で書く。
- ③ 段落は分けない。
- ④ 句読点や「」も一字とする。